学校番号	T3036

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	（学）時事英語入門	1	4	担当者作成ハンドアウト等

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・時事英語入門では、英字新聞を読んだり英語のニュースを聞き取ったりすることで、日常的によく使われる基本的な語彙から学んでいきます。
・学習を進めていく過程で、理解した英語を他人とのやり取りや発表したりするアウトプット活動を行うことで、より理解を深めていきます。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第４学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・ゆっくりはっきりと発音されれば、身近な単語や句を正確に聞き取ることができる。 ・ゆっくりはっきりと発話される基本的な語句や表現からなる英文の（１文）の内容を正確に聞き取ることができる。	・基本的で具体的な語句や句の意味を、実物を思い浮かべて理解することができる。 ・日常生活で使われる短い簡単な指示やレストランのメニューなどを理解することができる。	・決まった日常のあいさつや季節のあいさつのやり取りをすることができる。 ・決まった表現や形式を用いて、日時や場所について質問したり、質問に答えたりすることができる。	・前もって準備した上で、決まった表現や形式を用いて、身近な物事について簡単な説明をすることができる。	・基本的な単語をブロック体で正確に書くことができる。 ・例を参考にしながら自分自身についての基本的な情報を書くことができる。 ・基本的な語句や表現、文法事項などの知識を活用して簡単な英文を書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・英字新聞を読んだりニュースを聞いたりする上で必要な基本的な語彙を理解することができる。また、読んだ内容についての問題を解いたり、簡単な要約を作成したりすることができる。	・記事やコラムを読み、筆者の立場や考え方を理解したり、内容の要点をまとめたりすることができる。	・英語で日本の出来事や世界の出来事を読んだり聞いたりするときに、英語を身近なものと捉え自らの実生活の中に英語との関わりを見つけようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
前期	英字新聞トピックⅠ（スポーツ）	聞くこと	a: ゆっくりはっきりと発話されるスポーツについての基本的な語句句を聞き取っている。 b: 発話されている内容（外国で行われたサッカーの試合結果等）について、必要な情報を聞き取っている。 c: 発話されている内容（外国で行われたサッカーの試合結果等）について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業内での活動
		読むこと	a: 基本的なスポーツにおける語句や句を、実物を思い浮かべて理解することができる。 b: トピックの内容（外国で行われたサッカーの試合結果等）を読み、概要を捉えている。 c: トピックの内容（外国で行われたサッカーの試合結果等）を読み、概要を捉えてようとしている。	担当者作成ハンドアウト
		話すこと （発表）	a: スポーツに関する語句などの意味や働きを理解している。 b: 日常的な話題（自分の好きなスポーツ等）について、基本的な語句や文を用いて話している。 c: 日常的な話題（自分の好きなスポーツ等）について、基本的な語句や文を用いて話そうとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 自分の好きなスポーツを紹介するために必要な書く技能を身に付けている。 b: 自分の好きなスポーツについて、簡単な語句や文を用いて書いている。 c: 自分の好きなスポーツについて、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。	担当者作成ハンドアウト
	中間考査			
	英語ニュースⅠ（外国の天候）	聞くこと	a: 天候を表す表現を理解している。 b: 発話されている内容（外国の天候）について、必要な情報を聞き取っている。 c: 発話されている内容（外国の天候）について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業内での活動
		読むこと	a: 天候を表す表現を理解している。 b: 題材に書かれている内容（外国の天候）を読み、概要を捉えている。 c: 題材に書かれている内容（外国の天候）を読み、概要を捉えようとしている。	担当者作成ハンドアウト 定期考査
		話すこと （やり取り）	a: 相づちを打ったり、聞き直したりする等、他者とのコミュニケーションを円滑に進めるための言語の働きを理解している。 b: 日常的な話題（昨日の大阪の天気等）について、簡単な語句や文を用いて伝え合っている。 c: 日常的な話題（昨日の大阪の天気等）について、聞き手に伝わるように簡潔に伝えようとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 似た英単語の動詞と形容詞の違い（rain と rainy 等）を理解している b: ごく身近な話題（明日の天気等）について、動詞と形容詞を使い分けながら書いている。 c: ごく身近な話題（明日の天気等）について、動詞と形容詞を使い分けながら書こうとしている。	担当者作成ハンドアウト 定期考査
	期末考査			

後期	英字新聞トピックⅡ（異文化理解）	聞くこと	a: 異文化理解における、説明の内容を理解する知識や技能を身に付けている。 b: 発話されている内容（日本と外国の文化の違い等）について、視覚情報などを参考にしながら、理解している。 c: 発話されている内容（日本と外国の文化の違い等）について、視覚情報などを参考にしながら、理解しようとしている。	授業内での活動
		読むこと	a: トピックの内容（日本と外国の文化の違い等）について、概要を捉える技能を身に付けている。 b: トピックの内容（日本と外国の文化の違い等）を読み、概要を捉えている。 c: トピックの内容（日本と外国の文化の違い等）を読み、概要を捉えようとしている。	担当者作成ハンドアウト 定期考査
		話すこと（発表）	a: プレゼンテーションにおける、導入・展開・結論の構成を理解している。 b: ごく身近な事柄（自分の好きな日本文化）について、他者に伝わりやすいように、抑揚や流暢さを意識しながら話している。 c: ごく身近な事柄（自分の好きな日本文化）について、他者に伝わりやすいように、抑揚や流暢さを意識しながら話そうとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: ライティングのトピック（日本と外国の文化の違い）について、必要な書く知識や技能を身に付けている。 b: ライティングのトピック（日本と外国の文化の違い）について、文化の違いを明確にしながら書いている。 c: ライティングのトピック（日本と外国の文化の違い）について、文化の違いを明確にしながら書こうとしている。	ライティング課題 定期考査
	中間考査			
	英語ニュースⅡ（環境問題）	聞くこと	a: 社会的な話題（地球温暖化や異常気象等）について、説明の内容を捉える知識や技能を身に付けている。 b: 社会的な話題（地球温暖化や異常気象等）について、発話された内容を聞いて、必要な情報、概要、要点を捉えている。 c: 社会的な話題（地球温暖化や異常気象等）について、発話された内容を聞いて、必要な情報、概要、要点を捉えようとしている。	授業内での活動
		読むこと	a: 社会的な話題（地球温暖化や異常気象等）について、説明の内容を捉える知識や技能を身に付けている。 b: 社会的な話題（地球温暖化や異常気象等）について書かれた文章を読んで、要点を捉えている。 c: 社会的な話題（地球温暖化や異常気象等）について書かれた文章を読んで、要点を捉えようとしている。	担当者作成ハンドアウト 定期考査
		話すこと（やり取り）	a: 他者の意見に同意や反対する意見を理解している。 b: 社会的な話題（地球温暖化の対策のために自分たちができること等）について、自分の意見を他者と伝え合うやり取りをしている。 c: 社会的な話題（地球温暖化の対策のために自分たちができること等）について、自分の意見を他者と伝え合うやり取りをしようとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 一貫性のある簡潔な文章を書く技能を身に付けている。 b: 社会的な話題（地球温暖化の対策のために自分たちができること等）について、自分の意見をまとまりのある文章で書いている。 c: 社会的な話題（地球温暖化の対策のために自分たちができること等）について、自分の意見をまとまりのある文章で書こうとしている。	担当者作成ハンドアウト 定期考査
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度